

インターネットリサーチによる歯科定期受診行動に関わる要因についての調査

研究協力者	石田 智洋	（東京医科歯科大学歯学 教育システム評価学分野）
研究代表者	安藤 雄一	（国立保健医療科学院 生涯健康研究部）
研究分担者	深井 穂博	（深井保健科学研究所）
研究協力者	大山 篤	（東京医科歯科大学 歯科総合診療部）

研究要旨

歯科へ定期受診する必要性を感じていても、実際に定期受診する患者もいればしない患者もいる。また、定期受診する必要性自体を感じていない患者もいる。定期受診する／しないを分ける要因は、従来の統計調査からわかっているもの以外にも存在する可能性があり、統計調査の調査内容をより掘り下げて検討していく必要がある。

本調査では、「定期受診している患者が通院している歯科医院」と、「定期受診していない患者が治療時に通院している歯科医院」の特徴を、個々の患者情報を踏まえて比較し、患者が歯科への定期受診行動を起こすとき、あるいはこれが妨げられているときにどのような要因が関連しているのかを分析するため、定期受診に関する歯科医院からの働きかけ、定期受診に対する患者の意識、定期受診している理由・していない理由、患者が定期受診している歯科医院としていない歯科医院それぞれの特徴等に関してインターネットリサーチを用い、性・年齢階層別に調査を行った。

調査の結果、患者も歯科医院も定期受診行動を促す、または妨げる要因を多く持っていることが明らかとなった。定期受診をする／しないに関わる患者側の要因としては、性別や年齢だけでなく、時間的・経済的な余裕、健康に対する意識、身近に定期受診している人間がいるかどうか、などが大きな影響を与えていることが明らかとなった。対して、歯科医院側の要因としては、歯科医師や歯科衛生士が患者へ定期受診を促すような働きかけをしているかどうか、定期受診する歯科医院の環境として患者が求めるような要件を満たしているか、などが大きな影響を与えていることが明らかとなった。特に求められている要件としては、設備の面では「リラックスできること」「スタッフが名札をつけていること」「患者のプライバシーに配慮されていること」、スタッフの人柄の面では「相談しやすいこと」「信頼できること」、診療内容の面では「指導が適切であること」「口腔内の状態を記録すること」「治療回数や金額、現状や見通しを説明すること」が重視されていることが明らかとなった。また、患者の性・年齢は、歯科医院側から定期受診に関するアプローチを受ける患者自身に影響があるだけでなく、与える側である歯科医院側にもアプローチ内容に差を生じさせていることがあることが示唆された。

A. 研究目的

本研究班にて以前行われた歯科受診行動に関する仮想需要調査において、この1年間に歯科治療を行った患者の多くが受診した歯科診療施設の選択理由に「かかりつけ歯科であること」と「通院の利便性」を挙げていることが分かった。だが、従来行われてきた歯科医療の需給分析では、痛みや機能障害などの症状がなくとも定期的に歯科を受診する行動、いわゆる歯科定期受診に関する調査および分析はいまだ不十分である。定期受診について考えたとき、例えば必要性を感じていても、実際に定期受診する患者もいればしない患者もいる。また、定期受診について必要性自体を感じていない患者もいると考えられる。定期受診する／しないを分ける要因は、従来の統計調査などの分析からわかっているもの以外にも存在する可能性があり、統計調査の分析内容をより掘り下げて検討していく必要がある。

本調査では、定期受診に対する患者の行動変容ステージ^{1,2)}の変化に着目し、定期受診している患者が通院している歯科医院と、定期受診していない患者が治療時に通院している歯科医院の特徴を、患者自身の情報を踏まえて比較し、患者が定期受診行動を起こすとき、あるいはこれが妨げられているときにどのような要因が関連しているのかをインターネットリサーチの記述統計により調査し、また、クロス集計により対象者の性・年齢階級別に分析することを目的とした。

B. 研究方法

従来の統計調査の分析からは十分に分かっていない、歯科への定期受診に関する歯科医院側、患者側の様々な要因を抽出するため、歯科定期受診行動に関するインターネットリサーチを事前調査と本調査に分け行った。調査期間は平成23年2月24～25日であった。

1) 調査における歯科定期受診の定義

モニタに対し、「一定期間ごとに歯や口の状態を診てもらい、必要に応じて歯みがきの指導や歯石除去（歯のクリーニング）をしてもらいに歯科医院を受診することを定期受診しているという。ただし痛みなど、口の中の症状が出て受診したような場合は定期受診としない。」と定義付けした。

2) 調査対象

調査対象はインターネットリサーチを専門に行っている、(株)マクロミル社に登録されているモニタであった。

事前調査ではモニタ30,000人に対しスクリーニングを行い、「定期受診している」と回答した者のうち、頻度として1年に1回以上の選択肢を選んだ者と、「定期受診していない」と回答した者を抽出し、それぞれを「定期受診している者（以下、定期受診者と略す）」のグループ、「定期受診していない者（以下、非定期受診者と略す）」のグループとした。

本研究では、上記で抽出された2グループそれぞれ対し、男女別に「20代」、「30代」、「40代」、「50代」および「60代」、計10カテゴリを作成し、各カテゴリ103名ずつ、計2060名を調査対象とした。調査対象者の属性を資料1に示す。なお、本調査への協力依頼メールの配信数は2825通であり、回収率は72.9%であった。年代別には、定期受診しているグループでは、男性の回収率は20代68.7%、30代73.6%、40代73.6%、50代73.6%、60代79.2%であり、女性の回答率は20代68.7%、30代68.7%、40代68.7%、50代73.6%、60代79.2%であった。定期受診していないグループでは、男性の回収率は20代68.7%、30代73.6%、40代73.6%、50代73.6%、60代79.2%であり、女性の回答率は20代66.5%、30代73.6%、40代73.6%、50代73.6%、60代79.2%であった。

2) 質問項目

本調査の質問内容は大きく分けて、① 定期受診者に対する質問、② 非定期受診者に対する質問、③ 定期受診者・非定期受診者に対する共通の質問、の3つに分けられた。それぞれの質問項目は以下の通りである。

① 定期受診者に対する質問（質問 1～質問 7）

質問 1. いつから定期受診しているか、質問 2. 期受診するようになる際の歯科医院からの働きかけはあったか、質問 3. 定期受診を促す知らせはあるか、質問 4. 定期受診している理由、質問 5. 定期受診することで実感していること、質問 6. 定期受診を負担に思ったことがあるか、質問 7. 定期受診を中断したことがあるか

② 非定期受診者に対する質問（質問 8～質問 12）

質問 8. 歯科医院から定期受診を勧められたことがあるか、質問 9. 定期受診していない理由、質問 10. 定期受診の必要性を感じているか、質問 11. （質問 10 にて必要性を感じていると回答した者に対し、）定期受診をするようになるきっかけとして考えられること、質問 12. （質問 10 にて必要性を感じていると回答した者に対し、）定期受診に期待すること

③ 定期受診者・非定期受診者に対する共通の質問（質問 13～質問 20）

質問 13. 通院している歯科医院の郵便番号、質問 14. 通院する歯科医院の特徴、質問 15. 歯科以外で通院している診療科、質問 16. 過去 1 年に受けた健診（検診）、質問 17. 喫煙の有無、質問 18. 身長と体重、質問 19. 世帯員数、質問 20. 身近にいる歯科定期受診者

これらの質問項目から得られたデータを集計し、記述統計により分析した。使用した質問票を資料 2 に示す。自由回答の質問 12 に関しては、回答者が意識して用いていたと思われるキーワードを抽出した。同様な意味で用いられているキーワードが複数存在した場合には、キーワードを 1 グループに集約し、50 回以上の頻度で使用されていたキーワード群の度数をグラフにまとめた。

C. 研究結果

本調査の結果を、質問項目ごとに示す。

① 定期受診者に対する質問の結果

質問 1 は、いつから定期受診しているかについての質問である。「2009 年から」が最も多く、15.9%であり、次いで「2008 年から」11.0%、「2010 年前半から」10.5%、「1990 年から」10.5%であった（図 1）。

質問 2 は、定期受診するようになる際の歯科医院からの働きかけについての質問である。

「歯科医師からのほたらきかけ」が 46.7%で最も多く、次いで「歯科衛生士からのほたらきかけ」19.5%、「受付からのほたらきかけ」9.1%であった（図 2）。

質問 3 は、歯科医院から定期受診を促す

知らせがあるかについての質問である。「特に知らせはない」が最も多く、47.8%で、次いで「DM（ダ

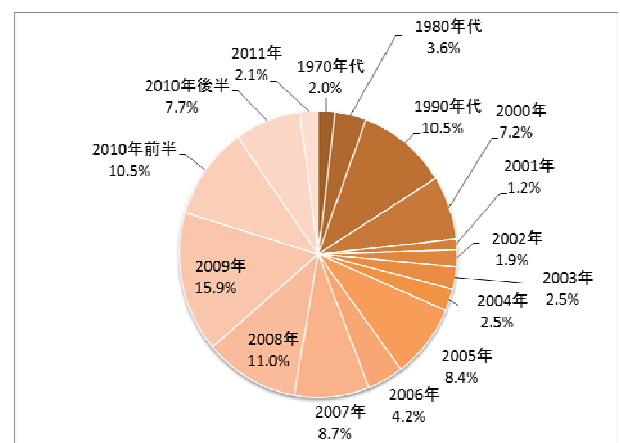


図 1 【質問 1】 いつから現在の歯科医院へ定期受診していますか。

イレクトメール) による知らせ」35.5%、「その他」11.2%、「電話による知らせ」7.9%であった(図3)。

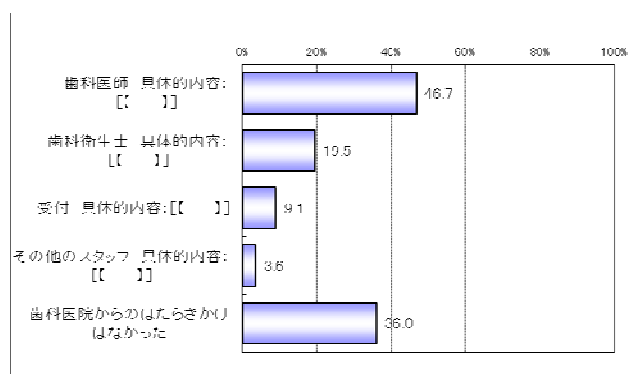


図2 【質問2】あなたが歯科医院へ定期受診するようになる際に、歯科医院の誰からはたらきかけがありましたか。

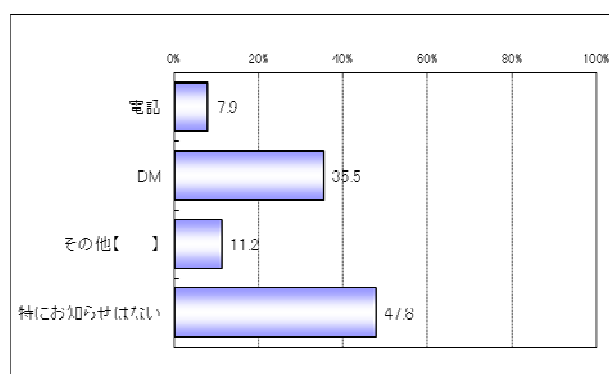


図3 【質問3】あなたが定期受診をされている歯科医院から定期受診を促すお知らせはありますか。

質問4は、定期受診している理由についての質問である。「安心感があるから」が54.4%で最も多く、次いで「歯科医師や歯科衛生士にすすめられているから」52.6%、「効果を実感しているから」33.2%であった(図4)。質問5は、定期受診することで実感していることについての質問である。「口の中の状態についてよく分かるようになった」が65.2%で最も多く、次いで「気になる症状がなくなった」が61.1%、「セルフケアの技術が向上した」が43.3%、「歯科についての知識が向上した」が25.7%であった(図5)。

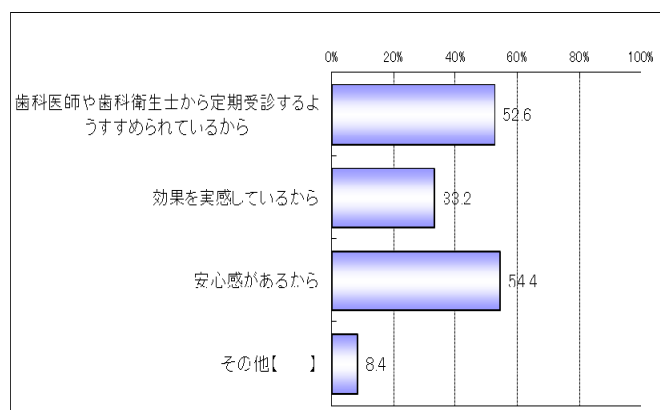


図4 【質問4】あなたが歯科医院へ定期受診に行っている理由は何ですか。

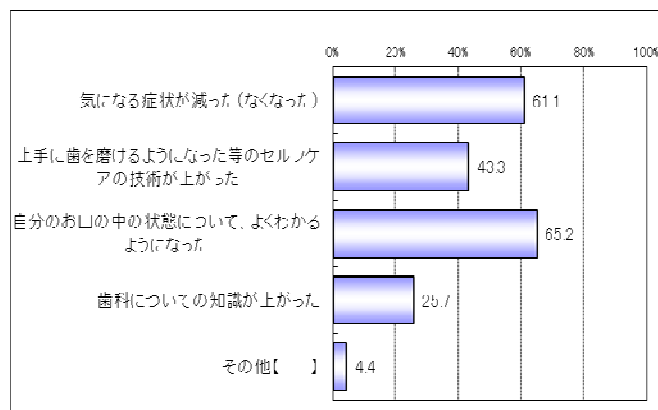


図5 【質問5】歯科医院へ定期受診するようになって、どのような効果を実感していますか。

質問6は、定期受診を負担に思ったことがあるかどうかについての質問である。結果は、「ある」19.1%、「ときどきある」27.0%で、合わせて46.1%が負担に思ったことがあると回答した(図6)。質問7は、定期受診を中断したことがあるかについての質問である。「ある」と回答した者は42.3%であった(図7)。

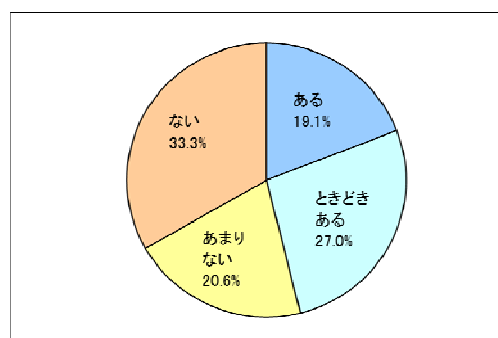


図6 【質問6】歯科医院への定期受診を負担に思ったことはありますか。

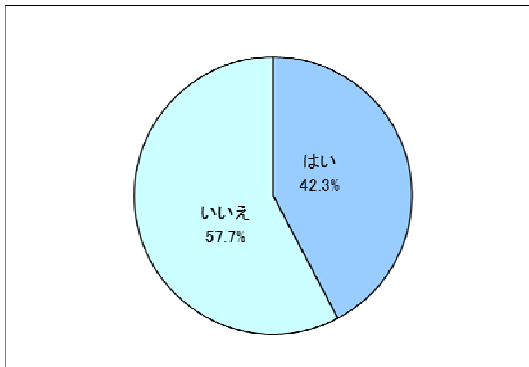


図7 【質問7】 あなたは、歯科医院への定期受診を中断したことがありますか。

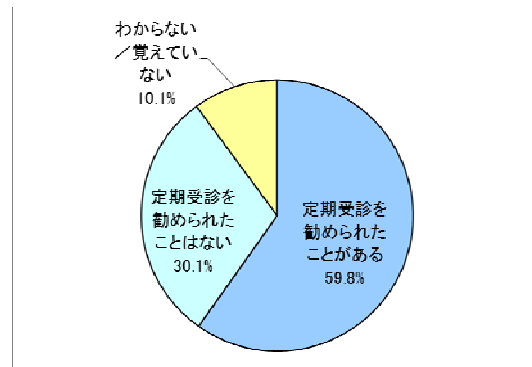


図8 【質問8】 あなたは、定期受診を歯科医院から勧められた事がありますか。

② 非定期受診者に対する質問の結果

質問8は、歯科医院から定期受診を勧められたことがあるかについての質問である。「定期受診を勧められたことがある」と回答した者は59.9%であった（図8）。質問9は、現在歯科医院へ定期受診していない理由についての質問である。「時間がないから」が50.4%で最も多く、次いで「金銭的な余裕がないから」37.1%、「通院が1回で終わらず、長引くのが嫌だから」35.0%、「そもそも歯医者が好きでないから」26.6%、が多かった（図9）。

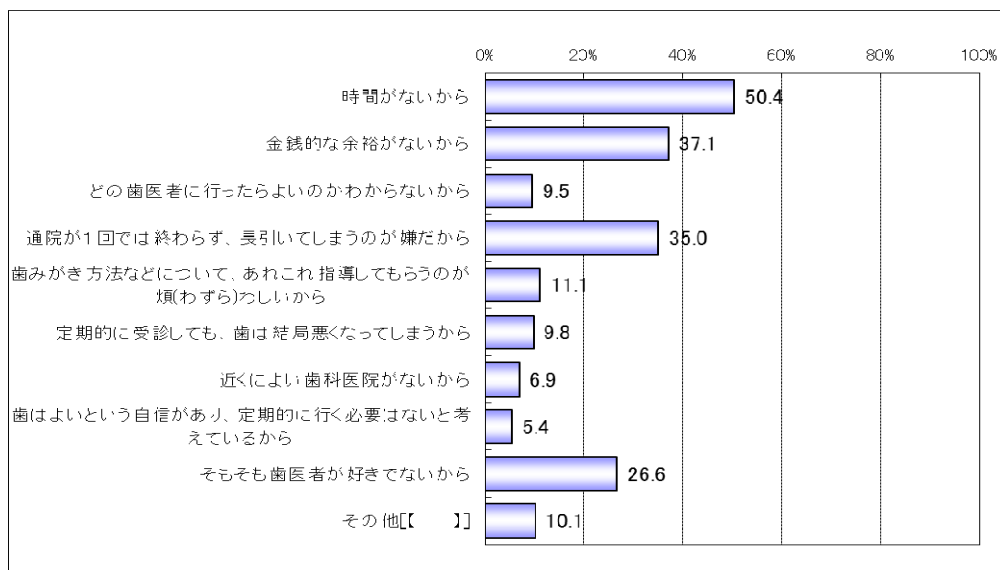


図9 【質問9】 あなたが現在、歯科医院へ定期受診していない詳しい理由として、あてはまるものをすべて選んでください。

質問10は、定期受診の必要性を感じているかについての質問である。「必要に感じている」18.6%、「やや必要に感じている」56.4%で、あわせて75.0%が必要性を感じていると回答した（図10）。質問11は、定期受診の必要性を感じている者に対しての、定期受診をするようになるきっかけとして考えられることについての質問である。「時間的な余裕ができる」が55.6%と最も多く、次いで、「時間的な余裕ができる」45.7%、「定期受診の通院が1回で終わるくらい口の状態がよくなる」37.0%であった（図11）。

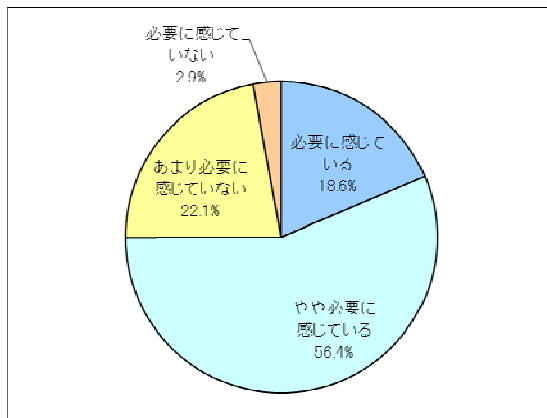


図 10 【質問 10】 歯科医院へ定期受診する必要性は感じて
いますか。

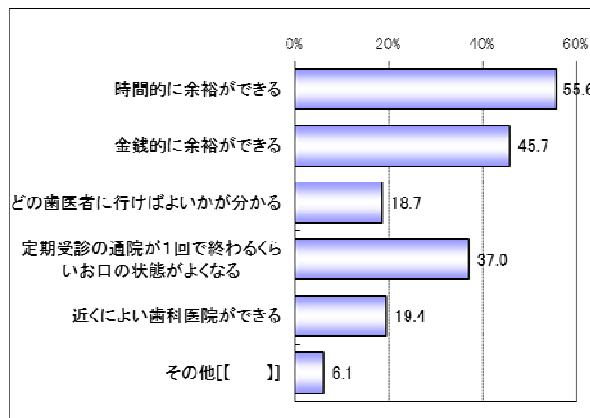


図 11 【質問 11】 あなたが定期受診を始めるきっかけとして、
どのような事が考えられますか。

質問 12 は、定期受診の必要性を感じている者に対しての、定期受診に期待することについての質問である。自由回答を集計し、頻出するキーワードを類似するものごとにグループ分けしたところ、最も多かったのは「虫歯」に関するコメントであった。次いで「時間・回数」、「治療」、「指導・アドバイス」、「歯石除去・クリーニング」、「予防」、「料金」、「早期発見」、「歯周病」などに関するコメントが多く見られた（図 12）。

③ 定期受診者・非定期受診者への共通の質問の結果

質問 13 は、通院する歯科医院の郵便番号についての質問である。定期受診者のうち、自宅と受診した歯科診療施設の郵便番号が 7 ケタとも完全に一致するものは 50.1%、自宅と受診した歯科診療施設の市区町村の一致するものは 77.1%であり、非定期受診者のうち、自宅と受診した歯科診療施設の郵便番号が 7 ケタとも完全に一致するものは 57.2%、自宅と受診した歯科診療施設の市区町村の一致するものは 86.8%であった（図 13）。

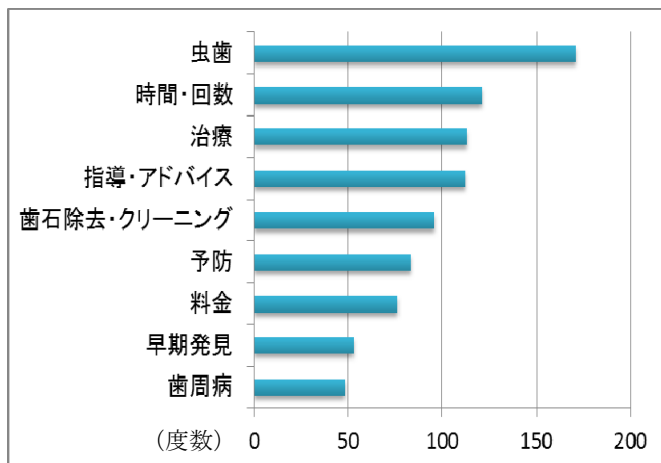


図 12 【質問 12】 歯科医院への定期受診にどんなことを期待しま
すか。（定期受診に期待することに関する言葉の頻度）

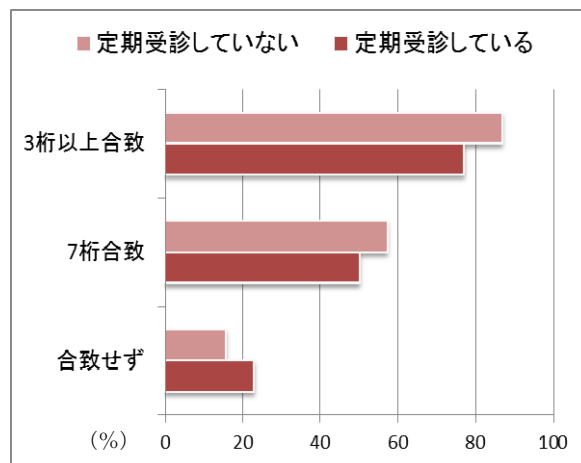


図 13 【質問 13】 あなたの通院する歯科医院の郵便番号を
教えてください。（自宅の郵便番号との一致度）

質問 14 は、通院する歯科医院の特徴についての質問である。特徴の項目のうち、定期受診者が通う歯科医院で「あてはまる」、「ややあてはまる」を選択した回答者の合計が、非定期受診者が通う歯科医院よ

り 10%以上多い項目は、差が多いものから順に「歯ブラシなどの具体的な指導が適切である」、「歯科医師や歯科衛生士に褒められたことがある」、「口の中の状態を診査して記録してくれる」、「治療回数と金額の説明を十分してもらえる」、「歯科医師や歯科衛生士と良く話や相談できる雰囲気である」、「勤務している歯科医師・歯科衛生士が信頼できる」、「リラックスできる環境である」、「スタッフが名札をつけている」、「隣の治療台と、壁やパーテーションで仕切られている等プライバシーには配慮されている」、「今後の見通しを分かりやすく説明してくれる」の 10 項目であった（図 14）。

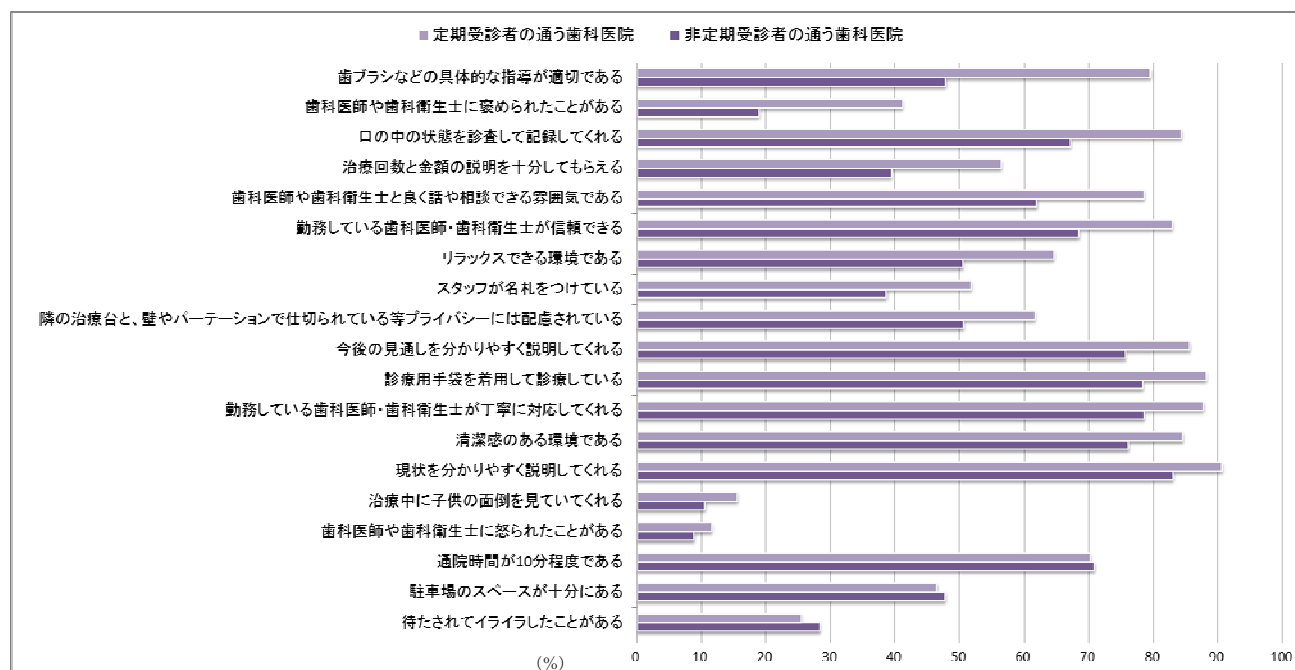


図 14 【質問 14】 あなたがいつも行く歯科医院について、「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらともいえない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」のうち、あてはまるものをお選びください。（「あてはまる」と「ややあてはまる」の割合の合計）

質問 15 は、歯科以外で通院している診療科についての質問である。定期受診者、非定期受診者ともに、「継続的に通院している」、「一時的に通院している」を選択した割合が最も大きかったのは「内科」であった（図 15, 16）。

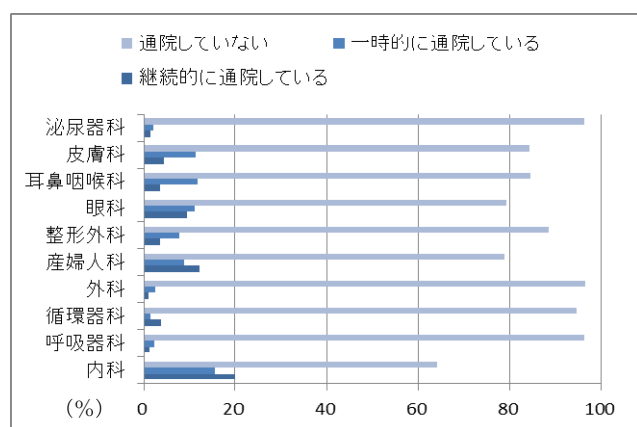


図 15 【質問 15】 あなたは以下の診療科への通院をしていますか。
（定期受診者）

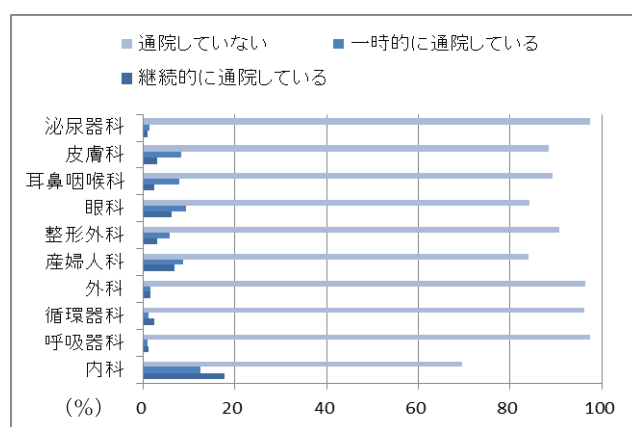


図 16 【質問 15】 あなたは以下の診療科への通院をしていますか。
（非定期受診者）

質問 16 は、過去 1 年に受けた健診（検診）についての質問である。定期受診者の場合、「特定健診」を受けたのは 25.1%で、「その他の健診」を受けたのは 39.8%であったのに対し、非定期受診者の場合、「特定健診」を受けたのは 19.9%で、「その他の健診」を受けたのは 30.9%であった（図 17）。質問 17 は、喫煙の有無についての質問である。定期受診者の喫煙者率は 19.3%であったのに対し、非定期受診者の喫煙者率は 21.6%であった（図 18）。

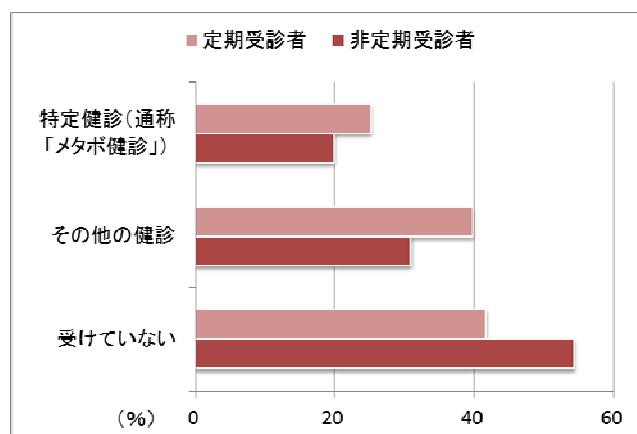


図 17 【質問 16】 歯科以外の健診（検診）について、過去 1 年間に受けたものすべてをお選びください。

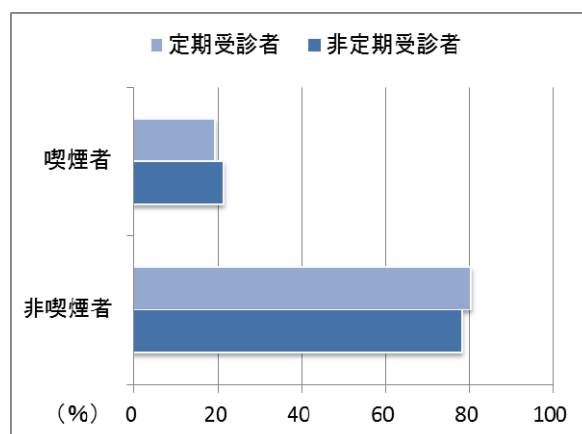


図 18 【質問 17】 現在、たばこを吸っていますか。

質問 18 は、回答者の身長と体重についての質問である。身長・体重より BMI 指数を算出したところ、定期受診者の場合、男性の平均値は 23.2、女性の平均値は 20.8 だったのに対し、非定期受診者の場合、男性の平均値は 23.7、女性の平均値は 21.6 だった（図 19）。質問 19 は、回答者の世帯員数についての質問である。定期受診者では、「2 人」が 28.8%で最も多く、次いで「3 人」が 25.3%、「4 人」が 21.8%であったのに対し、非定期受診者では、「3 人」が 27.9%で最も多く、次いで「2 人」が 25.8%、「4 人」が 19.1%であった（図 20）。

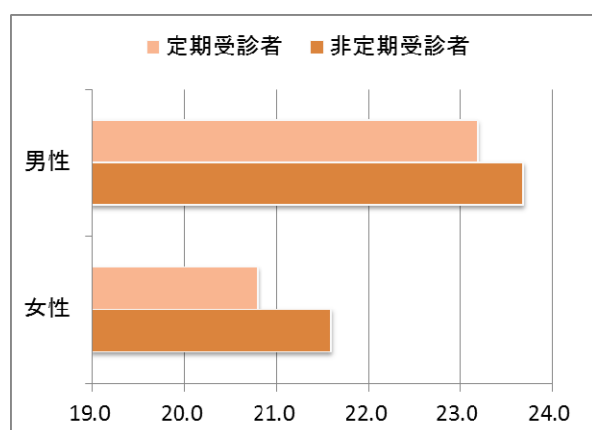


図 19 【質問 18】 身長と体重をお答えください。（身長と体重から算出された BMI 指数）

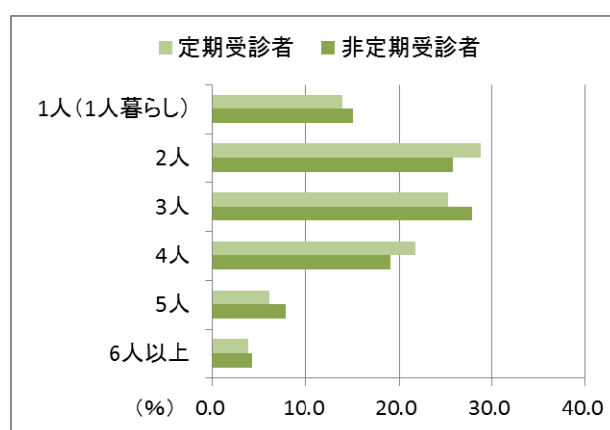


図 20 【質問 19】 ご自身も含め、ご家庭の世帯員数は何人ですか。

質問 20 は、回答者の身近の歯科定期受診者についての質問である。定期受診者では、身近に定期受診している人がいると答えた割合が 70.2%であったのに対し、非定期受診者では、身近に定期受診していると答えた割合は 41.9%であった。また、定期受診者の身近で定期受診している関係者で最も多かったの

が「配偶者」40.9%で、次いで「子供」25.7%、「親」20.9%であった。これに対し、非定期受診者の身近で定期受診している関係者で最も多かったのが「配偶者」22.0%で、次いで「子供」14.3%、「親」12.7%であった（図 21）。

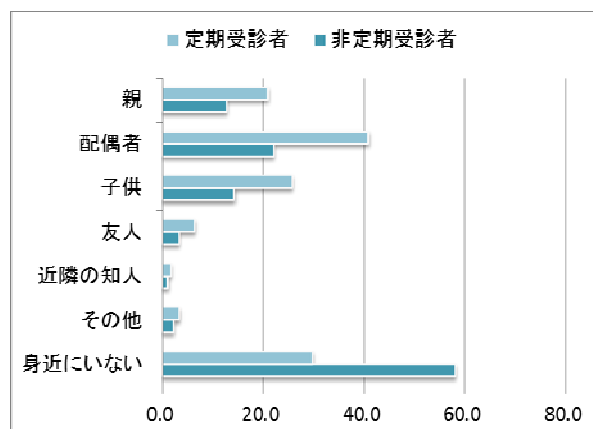


図 21 【質問 20】 あなたの身近に歯科医院へ定期受診している人はいますか。

D. 考察

本研究はインターネットリサーチと呼ばれる手法を用いて行われた。これはインターネットを介して行われるアンケート調査法であり、様々な年齢・性別・職種・居住地域の、多数のモニタに対し比較的短期間に調査を行うことができるとして、近年一般的に利用されている手法である³⁾。

本調査の質問 1～7 は、定期受診者に対する質問であった。そのうち質問 1 では、定期受診の継続年数としては過去 4 年以内に半数以上の定期受診者が集中しているという結果になったが、20 年前から継続的に定期受診し続けている者も 10.5%おり、長期的に定期受診に関するモチベーションを高く保つことも可能であることが示唆された。質問 2 からは、定期受診するようになったきっかけとして、歯科医院からの働きかけとしては歯科医師から患者に対する働きかけが最も多いことが分かった。対して、歯科医院からの働きかけがなかったとする定期受診者も 36.0%存在し、質問 3 の、定期受診を促す定期的な知らせが「ない」とする定期受診者が半数近く存在することと併せ、歯科医院からの働きかけなしに自主的に定期受診するようになった者も多数存在することが考えられた。また、質問 2 において、得られたデータを性別・年齢階層別にクロス集計したところ、50 代の女性 76%に定期受診を促す働きかけがあったのに対し、20 代、30 代の男性には 57%しか働きかけがなかった等、歯科医院側から定期受診を促す行動に、患者側の性別や年齢によって差が生じている可能性が示唆された（表 1）。質問 4 からは、定期受診をしている理由として、安心感があるからと回答した者と、歯科医師・歯科衛生士からのすすめがあるからと回答した者がそれぞれ半数以上いた。また、定期受診の効果を実感しているからとした回答者も約 3 分の 1 おり、実感している内容としては、質問 5 から、自身の口腔内の状態把握と、気になる症状が出なくなったことをそれぞれ 6 割以上の回答者が選択していた。また、セルフケア技術の向上を実感している回答者も 4 割以上おり、自己管理がひとつのキーワードになっていると考えられた。質問 6 からは、現在定期受診している者のなかで、定期受診を負担に思っている者と思っていない者が、おおよそ半々であることが明らかになった。実際、過去に定期受診を中断した者も質問 7 から、4 割以上いることが分かり、患者各々の状況によって定期受診による負担の度合いが様々であることが窺われた。

本調査の質問 8～12 は、非定期受診者への質問であった。そのうち質問 8 からは、歯科医院から定期受診を勧められたことがあるにも関わらず定期受診していない者が 6 割いることが明らかになった。定期受診していない理由としては、質問 9 から、時間がないことや金銭面の負担、毎回の定期受診が 1 度

で終わらないことが多く挙げられた。だが、質問 10 から明らかとなったように、非定期受診者のなかには、75%もの割合で定期受診の必要性を感じている者がいることが明らかとなった。彼らの定期受診行動を妨げている要因は、質問 11 から分かるように質問 9 の回答と同じで、時間や回数の負担、金銭的な負担が大半を占めていた。質問 12 は非定期受診者が定期受診で歯科医院に望むことについての質問であったが、ここでも「時間」「回数」「金銭」に関わる語彙が頻出した。さらに、「虫歯」や「歯周病」などの疾患に関わる言葉や「予防」「早期発見」「指導」「歯石除去」などに関わる言葉も多くみられ、定期受診はしていないものの、口腔保健への意識は高い者が多く存在することが示唆された。

本調査の質問 13～20 は、定期受診者・非定期受診者への共通の質問であった。そのうち、質問 13 から、郵便番号の一致度から定期受診者と非定期受診者が通う歯科医院と自宅とのおおよその距離関係が明らかとなった。郵便番号が完全に一致しているものは両者とも半数以上であり、市区町村が同じものまで含めると両者ともおおよそ 8 割となり、定期受診者も非定期受診者も、多くが自宅近くの歯科を受診していることが判明した。さらに、郵便番号が完全に一致していないものだけをみると、定期受診者の方が非定期受診者よりも多く、このことから、自宅から離れていても自身の決めた歯科医院に通う者は、非定期受診者よりも定期受診者に多い傾向があることが示唆された。また、質問 14 の回答結果から分かるように、歯科医院の環境やスタッフ、診療内容について、多くの点で定期受診している歯科医院と定期受診していない歯科医院に差があることが判明した。定期受診している歯科医院で特に重視されている点は、環境の面では「リラックスできる環境である」「スタッフが名札をつけている」「プライバシーへの配慮がされている」、スタッフの人柄の面では「相談しやすい」「信頼できる」、診療内容の面では「指導が適切である」「褒める」「状態を記録する」「治療回数や金額の説明をする」「現状や見通しの説明をする」などであることが明らかとなった。質問 15 において、歯科以外で通院している診療科と通院率については、項目に挙げられていた診療科すべてにおいて定期受診者と非定期受診者の間に大きな差はみられず、質問 17 の喫煙の有無についても明らかな差はみられなかったが、質問 16 の、過去 1 年間で受けた健診に関する質問では、特定健診とその他の健診を受けた割合の合計は、定期受診者 64.9%、非定期受診者 50.8%であり、明らかな差がみられた。また、質問 18 の回答から算出した BMI 指数は、男女ともに定期受診者よりも非定期受診者の方が平均値が大きかった。健診を受けた割合や BMI 指数から、非定期受診者よりも定期受診者の方が、自己の健康管理に対する意識が高いことが示唆された。

質問 19 では定期受診者と非定期受診者の世帯員数を比較したが、それぞれに明確な特徴や差はみられなかった。質問 20 では、調査対象者の身近に歯科医院へ定期受診している者がいるかどうかを聞いたが、非定期受診者よりも定期受診者の方が、その配偶者、子供、親に定期受診している者がいる割合が非常におおきかった。このことから、身近に定期受診者がいることは、自身の定期受診行動も促す大きな要因になっていることが考えられた。

表 1 歯科医院からの働きかけの性別・年齢階層別一覧

		全体	歯科医師	歯科衛生士	受付	その他のスタッフ	歯科医院からの働きかけはなかった
全体		515(人)	47.8(%)	14.8(%)	7.6(%)	2.9(%)	38.1(%)
男性	20代	103	46.1	15.1	6.5	0.8	42.9
	30代	103	38.8	13.7	7.1	2.7	42.7
	40代	103	50.5	14.6	7.3	3.0	36.5
	50代	103	57.0	16.1	9.9	2.8	29.1
	60代	103	48.5	14.6	7.8	4.9	36.9
全体		515	45.6	24.3	10.7	4.3	34.0
女性	20代	103	32.1	17.8	6.5	2.8	48.2
	30代	103	34.0	29.1	13.6	8.7	36.9
	40代	103	53.4	30.3	13.7	4.9	25.1
	50代	103	60.1	28.1	9.5	1.4	23.6
	60代	103	49.5	11.7	7.8	1.9	41.7

また、定期受診者・非定期受診者と個人年収、世帯年収によるクロス集計を行ったところ、定期受診者は非定期受診者よりも高所得であることが明らかとなり、このことから、定期受診をするかどうかには、経済要因が大きく影響していることが分かった（図 22, 23）。

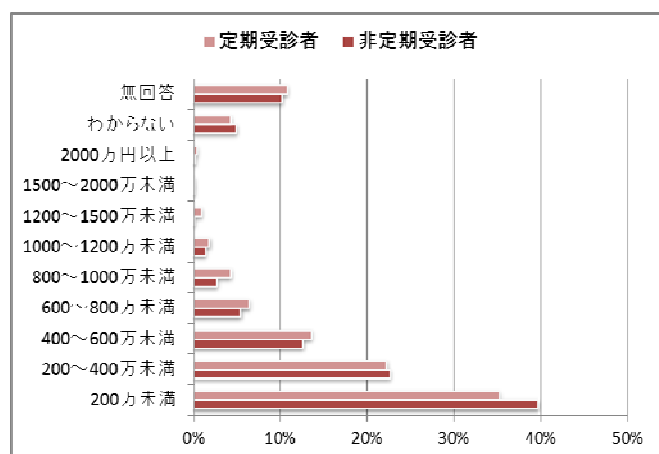


図 22 定期受診者・非定期受診者の個人年収

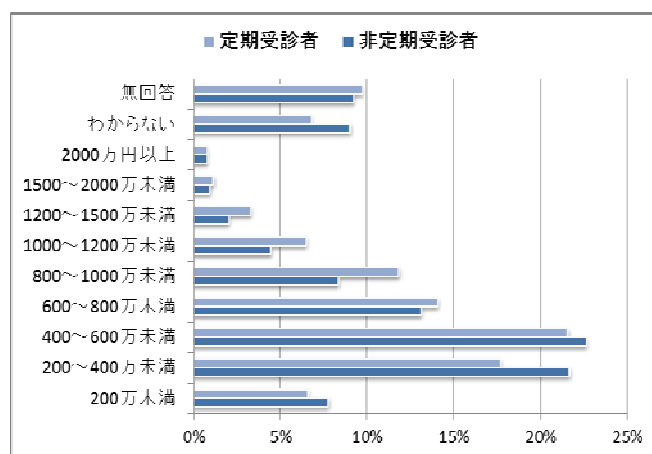


図 23 定期受診者・非定期受診者の世帯年収

E. 結論

以上より、定期受診を促す要因と妨げる要因は、患者側にも歯科医院側にも多く存在することが明らかとなった。患者側としては、時間や金銭面の要因で歯科受診を妨げられている者が多くみられたが、非定期受診者の中にも定期受診の必要性は感じているとした者も多くみられた。そして、定期受診の必要性を感じている者の意見より、症状を出さないよう予防あるいは疾患の早期発見をしてもらっているという安心感と、口腔の自己管理の重要性と方法を知り、把握することが、患者側の定期受診に関するモチベーションを維持・向上させるためのポイントであることが考えられた。逆に、定期受診の必要性を感じていない者も多数存在し、そのような患者には定期受診の重要性の周知、患者への定期受診の勧め等が重要であると考えられるが、患者の性別や年齢によって歯科医院からの働きかけに差がみられるなど、歯科医院の定期受診に対する取り組みや努力がまだ十分でないことも窺えた。また、定期受診者の通う歯科医院の特徴と非定期受診者の通う歯科医院の特徴の差から、歯科医院の環境整備や患者対応、診療内容の向上といった点も定期受診を促す上で、非常に大きな要因となっていることが考えられた。また、質問の回答から得られた様々な患者情報から、定期受診の方が非定期受診者よりも、自己の健康管理能力、健康に対する意識が高いこと、定期受診行動は身近の歯科定期受診者の存在に大きく影響を受けていること示唆された。

参考文献

- 1) Prochaska J.O., Velicer W.F. The transtheoretical model of health behavior change. American Journal of Health Promotion 12(1), p38 - 48, 1997
- 2) Prochaska J.O., Redding C.A., Evers K.E. The transtheoretical model and stages of change. In K. Glanz, B.K. Rimer, K. Viswanath (eds.), Health behavior and health education : theory, research, and practice. (4th ed), Jossey - Bass, p97 - 121, 2008

- 3) 筒井昭仁、安藤雄一：ウェブ調査（Web-based survey）によるフッ化物応用に関するリスク認知.
口腔衛生会誌、60 巻 2 号、2010

F. 研究発表

未発表

G. 知的財産の出願・登録状況

なし

資料1 調査対象者の属性

[TABLE001]

SEX	性別 単一回答	N	%
1	男性	1030	50.0
2	女性	1030	50.0
	全体	2060	100.0

[TABLE002]

AGEID	年齢 単一回答	N	%
1	12才未満	0	0.0
2	12才～19才	0	0.0
3	20才～24才	145	7.0
4	25才～29才	267	13.0
5	30才～34才	206	10.0
6	35才～39才	205	10.0
7	40才～44才	218	10.6
8	45才～49才	195	9.5
9	50才～54才	242	11.7
10	55才～59才	170	8.3
11	60才以上	412	20.0
	全体	2060	100.0

[TABLE003]

PREFECTURE	都道府県 単一回答	N	%
1	北海道	97	4.7
2	青森県	15	0.7
3	岩手県	17	0.8
4	宮城県	25	1.2
5	秋田県	17	0.8
6	山形県	14	0.7
7	福島県	24	1.2
8	茨城県	34	1.7
9	栃木県	27	1.3
10	群馬県	22	1.1
11	埼玉県	123	6.0
12	千葉県	134	6.5
13	東京都	311	15.1
14	神奈川県	202	9.8
15	新潟県	20	1.0
16	富山県	15	0.7
17	石川県	17	0.8
18	福井県	6	0.3
19	山梨県	7	0.3
20	長野県	26	1.3
21	岐阜県	25	1.2
22	静岡県	53	2.6
23	愛知県	112	5.4
24	三重県	31	1.5
25	滋賀県	19	0.9
26	京都府	45	2.2
27	大阪府	183	8.9
28	兵庫県	101	4.9
29	奈良県	27	1.3
30	和歌山県	10	0.5
31	鳥取県	5	0.2
32	島根県	8	0.4
33	岡山県	20	1.0
34	広島県	38	1.8
35	山口県	17	0.8

36	徳島県	14	0.7
37	香川県	14	0.7
38	愛媛県	25	1.2
39	高知県	9	0.4
40	福岡県	70	3.4
41	佐賀県	6	0.3
42	長崎県	10	0.5
43	熊本県	14	0.7
44	大分県	16	0.8
45	宮崎県	12	0.6
46	鹿児島県	9	0.4
47	沖縄県	14	0.7
全体		2060	100.0

[TABLE004]

AREA	地域 単一回答	N	%
1	北海道	97	4.7
2	東北地方	112	5.4
3	関東地方	853	41.4
4	中部地方	312	15.1
5	近畿地方	385	18.7
6	中国地方	88	4.3
7	四国地方	62	3.0
8	九州地方	151	7.3
全体		2060	100.0

[TABLE005]

MARRIED	未婚 単一回答	N	%
1	未婚	686	33.3
2	既婚	1374	66.7
全体		2060	100.0

[TABLE006]

CHILD	子供の有無 単一回答	N	%
1	子供なし	855	41.5
2	子供あり	1205	58.5
全体		2060	100.0

[TABLE007]

HINCOME	世帯年収 単一回答	N	%
1	200万未満	148	7.2
2	200～400万未満	405	19.7
3	400～600万未満	455	22.1
4	600～800万未満	280	13.6
5	800～1000万未満	208	10.1
6	1000～1200万未満	113	5.5
7	1200～1500万未満	55	2.7
8	1500～2000万未満	22	1.1
9	2000万円以上	16	0.8
10	わからない	163	7.9
無回答		195	9.5
全体		2060	100.0

[TABLE008]

PINCOME	個人年収 単一回答	N	%
1	200万未満	772	37.5
2	200～400万未満	462	22.4

3	400～600万未満	270	13.1
4	600～800万未満	122	5.9
5	800～1000万未満	72	3.5
6	1000～1200万未満	33	1.6
7	1200～1500万未満	10	0.5
8	1500～2000万未満	2	0.1
9	2000万円以上	6	0.3
10	わからない	95	4.6
	無回答	216	10.5
	全体	2060	100.0

[TABLE009]

JOB	職業 単一回答	N	%
1	公務員	60	2.9
2	経営者・役員	42	2.0
3	会社員(事務系)	283	13.7
4	会社員(技術系)	241	11.7
5	会社員(その他)	211	10.2
6	自営業	133	6.5
7	自由業	47	2.3
8	専業主婦(主夫)	461	22.4
9	パート・アルバイト	237	11.5
10	学生	105	5.1
11	その他	189	9.2
12	無職	51	2.5
	全体	2060	100.0

[TABLE010]

STUDENT	学生種別 単一回答	N	%
1	小学生	0	0.0
2	中学生	0	0.0
3	高校生・高専生	1	1.0
4	専門学校生	7	6.7
5	短大生	0	0.0
6	大学生	76	72.4
7	大学院生	20	19.0
8	その他学生	1	1.0
	全体	105	100.0

[TABLE011]

CELL	割付セル 単一回答	N	%
1	定期受診者_男性_20-29歳	103	5.0
2	定期受診者_男性_30-39歳	103	5.0
3	定期受診者_男性_40-49歳	103	5.0
4	定期受診者_男性_50-59歳	103	5.0
5	定期受診者_男性_60-69歳	103	5.0
6	定期受診者_女性_20-29歳	103	5.0
7	定期受診者_女性_30-39歳	103	5.0
8	定期受診者_女性_40-49歳	103	5.0
9	定期受診者_女性_50-59歳	103	5.0
10	定期受診者_女性_60-69歳	103	5.0
11	定期非受診者_男性_20-29歳	103	5.0
12	定期非受診者_男性_30-39歳	103	5.0
13	定期非受診者_男性_40-49歳	103	5.0
14	定期非受診者_男性_50-59歳	103	5.0
15	定期非受診者_男性_60-69歳	103	5.0
16	定期非受診者_女性_20-29歳	103	5.0
17	定期非受診者_女性_30-39歳	103	5.0
18	定期非受診者_女性_40-49歳	103	5.0
19	定期非受診者_女性_50-59歳	103	5.0
20	定期非受診者_女性_60-69歳	103	5.0
	全体	2060	100.0

資料2 質問票

質問1	いつから現在の歯科医院へ定期受診していますか。西暦でお答えください。 単一回答
1	1970年代
2	1980年代
3	1990年代
4	2000年
5	2001年
6	2002年
7	2003年
8	2004年
9	2005年
10	2006年
11	2007年
12	2008年
13	2009年
14	2010年前半
15	2010年後半
16	2011年

質問2	あなたが歯科医院へ定期受診するようになる際に、歯科医院の誰からどのようなはたらきかけがありましたか。 以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。 あわせて、その具体的内容についてもご記入ください。 複数回答
1	歯科医師 具体的内容:【 】
2	歯科衛生士 具体的内容:【 】
3	受付 具体的内容:【 】
4	その他のスタッフ 具体的内容:【 】
5	歯科医院からのはたらきかけはなかった

質問3	あなたが定期受診をされている歯科医院から定期受診を促すお知らせはありますか。 ある方は、その方法としてあてはまるものをすべてお選びください。 複数回答
1	電話
2	DM
3	その他【 】
4	特にお知らせはない

質問4	あなたが歯科医院へ定期受診に行っている理由は何ですか。 以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。 複数回答
1	歯科医師や歯科衛生士から定期受診するようすすめられているから
2	効果を実感しているから
3	安心感があるから
4	その他【 】

質問5	歯科医院へ定期受診するようになって、どのような効果を実感していますか。 それぞれあてはまるものをお選びください。(いくつでも)
-----	--

	複数回答
1	気になる症状が減った(なくなった)
2	上手に歯を磨けるようになった等のセルフケアの技術が上がった
3	自分のお口の中の状態について、よくわかるようになった
4	歯科についての知識が上がった
5	その他【 】

質問6	歯科医院への定期受診を負担に思ったことはありますか。もっともあてはまるものを1つお選びください。 あわせて、そのようにお答えになった理由について具体的に記入ください。
	単一回答
1	ある 具体的内容:【 】
2	ときどきある 具体的内容:【 】
3	あまりない 具体的内容:【 】
4	ない 具体的内容:【 】

質問7	あなたは、歯科医院への定期受診を中断したことがありますか。
	単一回答
1	はい
2	いいえ

質問8	あなたは、定期受診を歯科医院から勧められた事がありますか。
	単一回答
1	定期受診を勧められたことがある
2	定期受診を勧められたことはない
3	わからない／覚えていない

質問9	あなたが現在、歯科医院へ定期受診していない詳しい理由として、あてはまるものをすべてお選びください。
	複数回答
1	時間がいないから
2	金銭的な余裕がないから
3	どの歯医者に行ったらよいのかわからないから
4	通院が1回では終わらず、長引いてしまうのが嫌だから
5	歯みがき方法などについて、あれこれ指導してもらうのが煩(わずら)わしいから
6	定期的に受診しても、歯は結局悪くなってしまうから
7	近くにより歯科医院がないから
8	歯はよいという自信があり、定期的に行く必要はないと考えているから
9	そもそも歯医者が好きでないから
10	その他【 】

質問10	歯科医院へ定期受診する必要性は感じていますか。
	単一回答
1	必要に感じている
2	やや必要に感じている
3	あまり必要に感じていない
4	必要に感じていない

質問11	あなたが定期受診を始めるきっかけとして、どのような事が考えられますか。 以下の中から、あてはまるものをすべてお選びください。 複数回答
1	時間的に余裕ができる
2	金銭的に余裕ができる
3	どの歯医者に行けばよいか分かる
4	定期受診の通院が1回で終わるくらいお口の状態がよくなる
5	近くにより歯科医院ができる
6	その他【 】

質問12	歯科医院への定期受診にどんなことを期待しますか。 具体的にご記入ください。
------	--

質問13	あなたの通院する歯科医院の郵便番号を教えてください。 ※いつも行く歯科医院が特に決まっていない場合は最後に受診した歯科医院についてお答えください。 ※ご不明な場合はお手数ですがインターネット等でお調べください。
------	---

質問14	あなたがいつも行く歯科医院について、それぞれあてはまるものをお選びください。 ※いつも行く歯科医院が特に決まっていない場合は最後に受診した歯科医院についてお答えください。 【その他以外必須】 単一回答	1	2	3	4	5
		あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
1	通院時間が10分程度である					
2	駐車場のスペースが十分にある					
3	待たされてイライラしたことがある					
4	リラックスできる環境である					
5	清潔感のある環境である					
6	隣の治療台と、壁やパーテーションで仕切られている等、プライバシーには配慮されている					
7	治療中に子供の面倒を見てくれる					
8	勤務している歯科医師・歯科衛生士が信頼できる					
9	勤務している歯科医師・歯科衛生士が丁寧に対応してくれる					
10	歯科医師や歯科衛生士と良く話や相談できる雰囲気である					
11	歯科医師や歯科衛生士に褒められたことがある					
12	歯科医師や歯科衛生士に怒られたことがある					
13	スタッフが名札をつけている					
14	口の中の状態を診査して記録してくれる					
15	現状を分かりやすく説明してくれる					
16	今後の見通しを分かりやすく説明してくれる					
17	歯ブラシなどの具体的な指導が適切である					
18	治療回数と金額の説明を十分してもらえる					
19	診療用手袋を着用して診療している					
20	その他【 】					

質問15	あなたは以下診療科への通院をしていますか、 それぞれあてはまるものを1つずつお選びください。 【その他以外必須】 単一回答	1	2	3
		継続的に 通院して いる	一時的に 通院して いる	通院して いない
1	内科			
2	呼吸器科			
3	循環器科			
4	外科			
5	産婦人科			
6	整形外科			
7	眼科			
8	耳鼻咽喉科			
9	皮膚科			
10	泌尿器科			
11	その他【 】			

質問16	歯科以外の健診(検診)について、過去1年間に 受けたものすべてをお選びください。 複数回答
1	特定健診(通称「メタボ健診」)
2	その他の健診【 】
3	受けていない

質問17	現在、たばこを吸っていますか。 単一回答
1	はい
2	いいえ

質問18	身長と体重をお答えください。
------	----------------

質問19	ご家庭の世帯員数は何人ですか。 ※ご自身も含めてお答えください。 単一回答
1	1人(1人暮らし)
2	2人
3	3人
4	4人
5	5人
6	6人以上

質問20	あなたの身近に歯科医院へ定期受診している人 はいますか。あてはまる方をすべてお選びください。 複数回答
1	親
2	配偶者
3	子供
4	友人
5	近隣の知人
6	その他【 】
7	歯科へ定期受診している人は身近にいない

